

蒲郡市生命の海科学館 展示改修における基本調査【概要版】

■リニューアルの背景

本館において、展示機能の軸である3階の常設展示や全体的な展示構成においては、開館当初から大きな変更は加えられていない状況である。展示されている希少な標本についてはこの25年で新たな発見や重要な知見があり、更なる価値が付加されたものも少なくない。さらに科学技術の進歩に伴い展示手法や解説機器の進歩も目覚ましいため、価値ある既存の標本を中心に新しい展示手法を取り入れた全体的な展示更新が希求される。また、本市では公共施設の更新、再編に向けた先導的なプロジェクトである「リーディングプロジェクト」を推進している。海辺の文教エリアの活性化につながる「リーディングプロジェクト」において、本館も関連する機能を担う施設としての役割が期待されている。上記のことから、前述の課題解決を行うべく、蒲郡市生命の海科学館のリニューアルを検討する。

■基本的な考え方

●基本理念

**生命の海”を軸とする自然科学をベースに、
多世代にわたるすべての市民・利用者の、
多様な活動の拠点となる科学館**

市民と科学（者）、子どもたちと科学（者）、市民と市民、市民と観光客、科学者と科学者など、様々な連携活動の幹として機能し、その成果を蓄積・発信することにより、市民の求める“幅広い年代層に渡る社会教育”や“学校教育との連携”の成果、即ち地域全体での科学的教養や文化としての科学の醸成、学校教育の向上に貢献。

●科学館の役割

(1) “生命の海”をメインテーマとした科学教育普及施設

(2) 学校教育と連携した理科教育施設

(3) 生涯学習・地域コミュニティの核となる施設

●あるべき姿の実現に向けて

- “生命の海”に関する展示の充実
- 講演会や講座、ワークショップなどの学習機会の充実
- 学校教育との連携の促進
- 市民との連携・協働
- スペースの確保
- 教育資源の充実
- 観光スポットとしての魅力アップ

■展示改修計画

●展示改修方針

(1) **最新デジタル技術と教育との融合による求心力のある魅力ある展示**

広く市民や観光客の興味関心を喚起し、リピーター確保にもつなげる魅力ある展示を実現することが必要となるため、プロジェクションマッピングやVR、ARなどといった先端デジタル技術を使った展示手法の導入を図る。

(2) **効果的なレイアウトの再構成**

動線上に大型パネルや展示台、映像機器等が多数設置されているため、リニューアルでは展示のレイアウトや動線計画をはじめとし、効果的な空間づくりの検討を行う。また、バリアフリーなど踏まえて館内の展示に係る部分のレイアウトの再構成も検討する。

(3) **標本を活かしたリニューアル**

地球と生命の歴史を紹介する施設として、現在展示してある隕石や化石、標本などの実物展示をうまく生かす。

■リニューアルにより実現される科学館の未来

●リニューアルにより実現される未来

- 最新デジタル技術と教育との融合による、魅力ある展示の充実
- 希少な標本の研究成果を盛り込んだ展示の実現及び継続的な展示の質の向上を実現
- 学校教育との更なる連携推進を実現
- 生涯学習や地域コミュニティ、市民の自主的かつ多様な学習への支援を実現

●科学館のリニューアルが拓く蒲郡市の未来

- 魅力あふれる知的レジャーの拠点構築
- 駅周辺の文教エリア活性化を促進
- 蒲郡ならではの特色ある理科教育の実施
- 蒲郡の宝である自然に対する市民の思いを深める

■展示リニューアルと併せて改善すべき事案

●ハード面

- 人にやさしい施設・地球環境に配慮した環境負荷の小さい施設の実現
- 駐車スペースの再整備
- 蒲郡市の東港整備計画との整合性担保するための野外展示の再整備
- 貴重な化石の保全保管計画

●ソフト面

- 受付の重複を解消することによる人件費の軽減
- ボランティア体制充実（体験活動の充実）
- 地域連携促進のための機能導入
- 評価手法の構築

■事業スケジュール

令和7年度	展示改修基本計画業務
令和8年度	展示改修設計業務
令和9年度	展示製作業務
令和10年度	リニューアルオープン
令和11年度	開館30周年

